



食料安全保障と地域発展のための 地域食料システム構築支援 (WFP 連携事業)



事業目的

過去事業の知見と成功事例を基に、民間企業等と連携し、西アフリカ地域の食料システム構築に貢献

事業内容

1998 年以降、西アフリカで住民参加型小規模水田開発や学校給食支援との連携を WFP と協働で実施。令和7年度以降は、これらの成功事例の横展開を目指し、日系企業等との連携により、資機材の実証や小規模農家への技術指導を実施。

これまでの事業

西アフリカ 16 か国中、7 か国で実施。直接裨益者数延べ 6.8 万人超、土地開発規模 4,700ha 超。



新規事業のポイント

セネガルを拠点に、日系企業の実証活動、現地パートナーとのコネクション形成も促進。



提供：WFP

本事業により期待される効果

- 小規模農家の技術及び所得向上
- 持続可能な食料システムの構築
- 日系企業の市場機会の拡大



現地農家

- 現地農家への研修・技術指導
- 民間企業の農業資機材の実証
- 地産地消型学校給食事業との連携



農林水産省 輸出・国際局 国際戦略グループ



MAFF
農林水産省